

## 授業科目等の概要

令和6年度（服飾専門課程ファッションビジネス科2年ファッションコーディネートコース）																
分類		種別	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	自由選択							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○	-	デザイン	パーソナルカラーⅡ	似合う色の見つけ方、色分類方法などのパーソナルカラーの基本から、自己演出だけではなく、人へのアドバイス方法やビジネスへの活用法などの応用まで、総合的に学ぶ。ファッション、ブライダルの現場など人と関わる仕事の様々な場面で活躍できる「カラーアドバイザー」を目指す。	2前	30	-	○	△	△	○			○		
○	-	パソコン	グラフィックⅡ	Adobe Photoshop（ラスター）を使い、テーマにあった効果的な画像処理（色調補正・画像切り抜き・フィルタ効果・描画モード等）や自分の思い描くイメージマップ作成などの演習を通じグラフィックデザインの基礎を学ぶ。またAdobe Illustrator（ベクター）を理解し、デザインを行うための基礎を中心に授業を進める。アイテムの平面画・柄・DM・ポスターを描くための応用力を身に付ける。	2前後	80	-	△	△	○	○			○	○	
○	-	服飾造形	ソーイングⅡ	卒業記念展に出品する作品制作を行う。ファッションコーディネートⅡの知識を活かしたプランに沿って、既存商品や古着などを活用し、新鮮なスタイリング提案のためにリプロデュースした衣装を制作する。	2前後	70	-		△	○	○			○		
○	-	流通・販売	ファッションビジネス演習	ファッションビジネスの基本である消費者視点でマーケティングを行うための分析方法を習得し、ファッションコーディネートⅡの授業と連動してコーディネート企画を各自が実践できるよう情報の取得方法、整理、分類を身につける。また後期の研修先で即戦力となるようワークキャリアを実施し、ビジネスにおけるマナーとホスピタリティの向上を目指す。後期では研修先報告書をまとめることで、ビジネス文書の作成方法を身につける。	2前	30	-	△	△	○	○			○		
○	-		ファッションビジネス知識Ⅱ	12月の『ファッション販売能力検定2級』の検定試験項目を基本の範囲とする。検定合格が最大の目標だが、少しづつでも理解の範囲を広げ、販売活動に自信が持てるようにすることをその先の目標とする。教科書を学び、問題演習を繰り返しながら、自信を持って解答できるように進めていく。1年生で学んだ販売の知識を体系的に理解を深めることを目標とする。	2前後	40	-	○	○		○			○		
○	-		ディスプレイⅡ	MDと商品の視覚的効果を研究実習し、プラン、ドウ、チェック、アクションの動きを習得する事により、売場において客数増加、購買力増加を図る力、さらに接客販売の現場での臨機応変な対応力を養う。	2前	60	-	△	△	○	○				○	
○	-		販売実習Ⅱ	選ばれるファッション販売員（FA）の職能に必要な「プロ意識」「ホスピタリティ」「提案力」を身につけ、接客業を追求できる人材の育成を目指す。前期は知識とロールプレイングでお客様に喜ばれる接客応対力を習得。また、近年のグローバル化、インバウンド需要における海外からのお客様に対応するため、接客英会話を新たな項目として組み込む。後期はP（プラン）D（ドウ）S（スタディ）A（アクト）に沿って、文化祭限定の仮想ショップや実際の店舗研修で、現場で起きた問題や店舗からの評価を受け、改善点をレポートし、PBL（プロジェクトベースラーニング）を実行する。	2前後	400	-	○	△	○	○	○			○	○
○	-		接客英会話Ⅰ	選ばれるファッション販売員の職能に必要な「プロ意識」「ホスピタリティ」「提案力」を身につけ、接客業を追求できる人材の育成を目指す。近年のグローバル化、インバウンド需要における海外からのお客様に対応するため、接客英会話を新たな項目として組み込む。	2後	30	-	△	△	○	○				○	

○	-		市場調査Ⅱ	ファッションの現場、ショップやファッション市場を見て調査し広く深く学び、自分で動き（動く力）、自分で考え（考える力）、考えたことを表現する力（表現力）を学ぶ。また、消費者の嗜好やファッション動向を調査分析し、トレンドを掴み、現在の情報を未来の提案に結びつける能力を養う。	2 前後	60	-	△	○	○	○			
○	-	コ ー デ ィ ネ ー ト	ファッション コーディネート Ⅱ	ファッションコーディネートの応用として必要な世代を超えたスタイリング知識を学び、市場分析、クラスター分析、トレンド情報分析を行い、店頭でのトータルコーディネート提案やパーソナルコーディネートに結びつくよう演習を行う。また定期試験においては後期のみ行う。	2 前後	140	-	△	△	○	○			○
○	-		カメラワークⅡ	映像の性質や仕組みを正しく理解し、ファッション業界に不可欠なSNSやWeb動画への知見を深める。また映像機材特有の技術、光や構図などの演出、ストーリーや動画編集など企画構成や基本ルールを学び、実際に商品（プロモーション）撮影までを行うことで、現場で活躍出来る実践力を身に付ける。	2 前	20	-			○	○	△		○
○	-		ヘア・メイク・ ネイル	ファッション業界で活躍する為に必要なセルフプロデュース力（自分をよりよく見せる）としてセルフメイク、セルフヘアアレンジの基礎技術を習得する。その応用として、ファッションテイスト別によるメイク、ヘアスタイルのイメージの違いや効果的な見せ方などトータルコーディネートのスキルをあげる事を目標とする。	2 前	60	-	△	○	○	○			○
合計					12 科目	単位時間：		1,020			時間			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
指定された教室及び実習を通して、知識・技術を習得する。 前期試験（9月）、後期試験（進級試験）及び、各科目の提出物、出席で評価。		1学年の学期区分	前・後期
		1学年の授業期間	全41週
進級クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを23週とする。 卒業クラスは前期4-9月末を19週とし、後期10月-3月までを22週とする。			

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。